



ID: 1455

科目名	公的扶助論【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	東 康祐			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢・福祉需要とその実際、相談援助活動において必要となる生活保護制度や関連する他の法制度、自立支援プログラムの意義と実際について理解することを目的とする。							
到達目標							
授業概要で示した内容の理解が目標であるが、より具体的な到達目標は社会福祉士国家試験における「低所得者に対する支援と生活保護制度」に対応できる水準の実力を身につけることができる。							
授業計画							
第1回	低所得階層の生活実態 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際						
第2回	生活保護の動向 生活保護費、保護率などの動向						
第3回	生活保護制度① 国・都道府県・市町村の役割、ハローワークの役割						
第4回	生活保護制度② 現業員・査察指導員の役割						
第5回	生活保護制度③ 保険と医療の連携						
第6回	生活保護制度④ 労働施策との連携、その他の施策との連携						
第7回	生活保護制度⑤ 福祉事務所の組織体系						
第8回	福祉事務所の役割と実際① 福祉事務所の組織体系						
第9回	福祉事務所の役割と実際② 福祉事務所の活動の実際						
第10回	自立支援プログラムの意義と実際① 自立支援プログラムの目的						
第11回	自立支援プログラムの意義と実際② 自立支援プログラムの作成過程と方法						
第12回	自立支援プログラムの意義と実際③ 自立支援プログラムの実際						
第13回	低所得者対策 生活福祉資金概要、自立支援の実際、無料定額診療制度、公営住宅						
第14回	ホームレス対策 ホームレス自立支援法の概要						
第15回	全体のまとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
期末試験の成績を中心に授業態度等を加味して総合評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10%	10%	70%	10%
授業外学習			テキスト、教材				
基本的に予習は要求しない。配布資料や参考書で復習を中心に学習してほしい。			必要に応じてレジュメ、資料を配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 第16巻 低所得者に対する支援と生活保護制度(公的扶助論) 第2版』中央法規			日本の基本的な公的扶助である生活保護制度を中心に学んでいきます。				
キーワード							
生活保護・福祉事務所・自立支援プログラム・ホームレス・生活福祉資金							